

中学校第3学年 美術科 学習構想案

日 時 令和〇年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時
場 所 美術室
指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 題材構想

題材名	魅力が伝わるパッケージ ～地元商店街の包装紙をつくろう～ (「日本文教出版 美術2・3下」P32～33)		
題材の目標	(1)・装飾や配色及びそれらが感情にもたらす効果や、場所や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。 (2)・商品を受け取る人の気持ちのイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。 ・構成や装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えることで、美意識を高め、見方や感じ方を深める。 (3)・美術の創造活動の喜びを味わい、中身のイメージが多くの人に伝わるように、魅力的な装飾や配色などを考えることを基に表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとする。		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果などを理解し、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 ②材料や用具、表現方法の特性などから、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。	①構成や装飾の目的や条件などを基に使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、包装紙やパッケージの機能と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 ②目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	①美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、機能と美しさとの調和などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 ②美術の創造活動の喜びを味わい、包み込む包装紙の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
題材終了時の生徒の姿 (題材のゴールの姿・期待される姿)			
自分が表現したいことに合わせて形や配色等の表現の構想を練るときに、商品を受け取る人の感情にもたらす効果などをイメージし、自分の表現方法を追求して表現しようとする生徒			
題材を通した課題 (題材の中心的な課題)		本題材で働かせる見方・感じ方	
商品を受け取る人の気持ちをイメージしながら、地元商店街のオリジナル包装紙をつくろう。		造形的な視点を捉え感性や創造力を働かせ、商品を受け取る人の気持ち等をイメージしながら、生徒自らが強く表現したいことを表現する意味や価値をつくりだすこと。	
指導計画と評価計画 (8時間取扱い 本時 2/8)			
過程	時間	学習活動 (問いを設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
鑑賞	1	○包装紙の参考作品を鑑賞する活動を通して、作者の心情や意図、表現の工夫に気づき、対話を通してそのよさを味わう。	【知①】 (観察) 【態①】 (観察) ○造形的な視点をもとに、参考作品の工夫点に気づき、作者の心情について感じ取っている。
発想構想	2	○商店街で販売されている商品を知り、主題を基に、形や色彩などが感情にもたらす効果や美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。	★【思①】 (ワークシート・観察) ○形や色彩の効果を生かして、構成や装飾を考え、企画書に表現している。
知識技能	4	○決定したデザインを基に、意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しをもって創造的に表す。	★【知②】 (作品・ワークシート・観察) ○イメージした色調で、リズムを考えた配置で下描きをしている。 ○背景と同系色を使い繰り返し、色による強弱を加えるなど、工夫して着色している。
鑑賞	1	○でき上がった生徒作品を鑑賞し、それぞれがデザインした作品についての見方や感じ方を深める。	★【思②】 (ワークシート・発言) ★【態②】 (観察) ○造形的なよさや工夫点について批評し合いながら鑑賞し、友達の作品のイメージを味わっている。

2 題材における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所（内容、指導事項等）				
中学校学習指導要領「A表現」（1）イ（ア），（2）ア（ア）（イ） 「B鑑賞」（1）ア（イ） 「共通事項」ア，イ				
教材・題材の価値				
本題材は、商品の包装紙の内容物のイメージの伝達を考慮し、独自の包装紙をデザインする学習内容である。発想や構想したことを基に、材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現する伝達を目的としたデザインを総合的に学ぶ題材となる。				
本題材における系統（横軸を当該学年での多領域とのつながり、横軸を他学年での同領域のつながり）				
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1年「楽しく伝える文字のデザイン」 伝えたい内容を考え、文字の形とその意味を表す絵をうまく組み合わせ、絵文字をつくる。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>2年「豊かなイメージで伝えよう」 本などの作品のイメージを豊かに伝える表紙をつくる。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>3年「暮らしを心地よくするインテリア」 室内空間を豊かにするためのインテリア小物をつくる。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>3年「魅力が伝わるパッケージ」 地元商店街の商品の特色や魅力を伝える包装紙のデザインを考える。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3年「私との対話」 自分の姿を見つめて考えたことをもとに、今の自分の気持ちや将来の夢を絵や立体に表す。</p> </div> </div>				
生徒の実態（題材の目標につながる学びの実態）				
■本題材を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
構成美の要素（秩序）について理解することができる。	—	—	—	—
配色による印象や感じについて理解することができる。	—	—	—	—
構成美の要素（秩序）や配色を考えたりしながら、どのように表現するか考えることができる。	—	—	—	—
■本題材の学習に関する意識の状況				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
自分の発想力を深めたり広げたりすることができていると思う。	—	—	—	—
自分の技能を高めたり広げたりすることができていると思う。	—	—	—	—
課題解決のために、友達の意見や考えを参考にして表すことができていると思う。	—	—	—	—
作品をよりよくするために、最初の段階から発想の再構成を繰り返すことができていると思う。	—	—	—	—
■考察 (略)				

3 指導に当たっての留意点

- 身近な地元商店街等の包装紙に関心をもたせるよう、その制作過程の思いを添えて参考作品を紹介する。
- 商品を販売する人、商品を受け取る人への思いを、デザインの形や色などの持つ特性やそれから受けるイメージを基に工夫して発想できるよう、日本の美意識、ピクトグラムなどの既習事項の再確認を行う。〔共通事項〕
- 発想の段階のアイデアスケッチや鑑賞の段階では、自分の言葉で〔共通事項〕を押さえた表現意図の説明ができるよう形や色彩、材料等についてのキーワード（暖かい、冷たい、コントラスト、リズム、・・・）を黒板及び大型テレビに分かりやすく示す。
- 発想がなかなか広がらない生徒に対しては、形や色彩の掲示物を常に活用できるよう掲示すると同時に、友達の作品に表現されている思いを〔共通事項〕を基に学び取らせる場を、学習過程の半ばに設定する。
- 学習の流れを①店や商品の特徴をつかむ、②企画書を作成する、③企画をグループで発表し合い、決定する、④全体でプレゼンテーションをするとし、制作後は生徒が商店街を伺い、オリジナル包装紙やパッケージの活用を検討していただくよう依頼する。

4 本時の学習

(1) 目標 商品を販売する人や商品を買う人の思いを基に、機能や造形的な美しさを総合的に考え、表現の構想を練り企画書に表している。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	15分	<p>1 前時の学習を振り返る。 ◇お店のイメージに合う模様がかいてあったなあ。 ◇お店のイメージに合う色だったなあ。</p> <p>2 本時の学習のめあてについて考える。</p> <p>【本時の目標（めあて）】 商品に込められた思いが伝わるデザインとはどんな形や色彩なのかを探り、テーマ性のある企画書を作成しよう。</p> <p>【学習課題】 商品を販売する人や買う人の思いをイメージし、包装紙のデザインを考えよう。</p>	<p>○日常生活の中で、そのものもつ色や形、材料等が私たちの生活を心豊かにしていることを確認する。</p> <p>○企画書記入のポイントを説明する際に、構成美の要素、配色、書体の印象について補足説明する。</p>
展開	25分	<p>3 企画書に商品を販売する人や買う人の思い等を基本に、包装紙のデザインを考え、アイデアスケッチをする。</p> <p>4 アイデアスケッチに、〔共通事項〕を基に考えた自分なりの価値を、言葉で書き加える。</p> <p>5 ペアワークの時間をとり、自分のアイデアに関して、友達から指摘や助言をもらい、企画書作成に生かす。 ◇友達の助言を自分の作品に取り入れてみよう。</p> <p>【期待される学びの姿】 使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、包み込む包装紙の機能と美しさとの調和などを多様な視点から総合的に考え、より一層、用途や機能と美しさの調和を考えた表現の構想を練っている。</p>	<p>○商品を販売する人や買う人の思いを基に、デザインを考え、企画書にアイデアスケッチをすることによって、イメージを明確化する。</p> <p>○形の繰り返しや大きさの変化、また、色のもたらす感情、書体をもつ印象について板書や資料集等を確認しながら考えさせる。</p> <p>○アイデアスケッチには絵だけでなく、言葉を添えてイメージを具現化させる。</p> <p>○対話的な学びから、自分の気づかなかったよさや表現の意図、創造的な工夫などを発見する。</p> <p>【具体的評価規準】 思① ○形や色彩の効果を生かして、構成や装飾を考え、企画書に表現している。 (企画書・生徒の発言)</p> <p>【到達していない生徒への手立て】 ○イメージがもてない場合は、商品を販売する人の思いを確認したり、使いやすく美しい目的と機能のあるデザインの主題について考えさせたりする。 ○デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせるなどして、構想しやすくする。</p>
終末	10分	<p>6 学習課題に対して学びを広めるとともに、めあてについての振り返りをする。</p> <p>【まとめ】 商品を販売する人や買う人の思いを基に、形の繰り返しや大きさの変化、また、色のもたらす感情、書体をもつ印象等をイメージしながら、包装紙のデザインを考えることができた。</p> <p>◇自分のイメージに近い企画書ができた。紹介された企画書の良い点を自分のアイデアに取り入れ、さらに改善していく。</p>	<p>○特に発想や構想がよく練られた企画書を大型テレビで見せ、作者の思いが、どのような形や色彩で表現しようとしているかを紹介し、次時の手立てとする。</p> <p>○本時の学びの成果や課題とその要因、課題の改善方法等を共有する。</p> <p>○自らの学びを調整したり、新たな問いを設定したりするなど、振り返りを具体的にを行う</p>

【板書計画】

めあて 商品に込められた思いが伝わるデザインとはどんな形や色彩なのかを探り、テーマ性のある企画書を作成しよう。

企画書

- ①お店の特徴
- ②デザインのコンセプト
- ③構成の名称
- ④配色の工夫
- ⑤ベースの色
- ⑥色数
- ⑦フォント(文字の形, 大きさ)

構成美の名称と特徴をまとめた図, 写真等

配色についてまとめた図, 写真等

文字の書体及びその書体から受ける印象等をまとめた図, 写真等

【ICT活用計画】

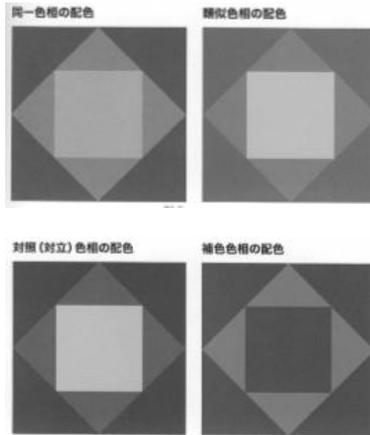
教師による教材提示の計画, ICTを活用した発表, まとめ等による考えの共有の計画等

企画書及び教科書や資料集等に掲載している構成美の要素, 配色, 文字の書体を電子黒板で拡大提示し, 板書の補助とする。

企画書

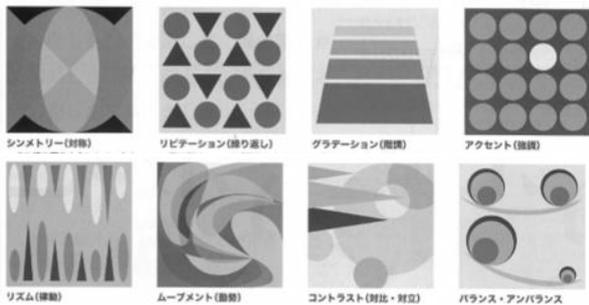
- ①お店の特徴
- ②デザインのコンセプト
- ③構成の名称
- ④配色の工夫
- ⑤ベースの色
- ⑥色数
- ⑦フォント(文字の形, 大きさ)

画面①



※それぞれの配色による印象や感じについて, 一つずつ写し出し, 説明する際の補助とする。

画面②



※それぞれの「構成美の要素(秩序)」について, 一つずつ写し出し, 説明する際の補助とする。

画面③



※文字の書体及びその書体から受ける印象等を説明する際の補助とする。

画面④